



# Chord MOVEMENT

特集

コードワーク

MOVE

# MoveとPUSHの違い

- 64パッドと32パッドの違いだけではない
- In key モードは4度ではなくてSequentモードになったため、同じ手形だけでダイアトニックコードは弾けない
- 音域の違いは大きい
- PUSHの3オクターブ半に対して、Moveの音域は2オクターブない
- 8\*4で縦に積んでいくようなフィンガリングは出来ない

# Moveでスムーズにコードワークが出来るために

- コードの仕組みを知る
- フィンガリングを考える
  - 横の限界を踏まえたフィンガリング
    - 最低音を考えたフィンガリング
  - 縦の限界を踏まえたフィンガリング
    - 上3パッド内で弾けるフィンガリング
  - PUSHではC固定レイアウトで弾けたが、Moveではそうではない。
  - 音域の変更
    - スケールの変更
    - Shift+上下で半音単位
- 転回形を使う
  - PUSHより更に音域が狭いために基本形で弾くことは出来ない
- ルートレスボイスング
  - ルートは弾かない
  - ガイドトーンボイスング
  - パッドの見方がポイントになる

# トライアド

- まずはトライアド
  - メジャートライアド
  - マイナートライアド
  - デイミニッシュ
  - オーギュメント
  - sus4
- 半音ずつルートをかきかして覚えていく
- 転回型
- トライアドを正確に覚えることで、4和音やテンションコードも表現できるようになる。

# Moveで実際のコード進行を弾いてみよう 1

- 4和音で弾いてみよう
- 1625
  - 基本形で弾いてみよう
    - ポジション移動が大きい
  - 4度上で弾いてみよう
  - 全音上で弾いてみよう
  - 全音下で弾いてみよう
  - ポジション移動を少なくして弾いてみよう
    - 4マス以内で弾いてみよう

## Moveで実際のコード進行を弾いてみよう 2

- テンションを入れて弾いてみよう
- 1625
  - 9thを弾いてみよう
    - 基本形
    - R+7と3+9
  - ドミナント7thは音域が飛ぶ
    - ルートレス
    - 3+7と6+9
  - 4度上で弾いてみよう
    - R+7と3+9
    - ルートレス
    - 7+3と6+9
  - 全音上で弾いてみよう
  - 全音下で弾いてみよう
  - ポジション移動を少なくして弾いてみよう
    - 4マス以内で弾いてみよう

# Moveで実際のコード進行を弾いてみよう 3

- パッシングコードを入れてみよう
- パッシングコードとは
  - 次のコードに繋げるためのコード
  - 1つなら最後の一拍で
  - 様々な手法がある
  - 転回系の利用
    - 特にベースを半音で繋ぐ
  - ドミナント7th
    - 4度上
    - 半音下
  - パッシングディミニッシュ
  - 詳しくはうりなみファンク教室に来るか noteを買うてくれ